



使用許諾 ONTAP Select

NetApp
February 19, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-select/concept_lic_evaluation.html on February 19, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

使用許諾	1
オプション（Options）	1
ONTAP Select環境用の評価ライセンス	1
本番環境用ライセンス	2
ライセンスを購入する	10
ONTAP Selectライセンス購入時のワークフロー	10
大容量階層	13
容量プール	14
ONTAP SelectでのONTAP機能のサポート	16
ONTAP の機能はデフォルトで自動的に有効になります	16
個別にライセンスされるONTAP の機能	17

使用許諾

オプション（Options）

ONTAP Select環境用の評価ライセンス

ONTAP Selectは、評価用ライセンスまたは購入ライセンスを使用して導入できます。選択するライセンスは、ONTAP Selectクラスタ内の各ノード、つまりクラスタ全体に適用する必要があります。購入を決定する前に ONTAP Select を評価したい場合は、評価用ライセンスを使用できます。評価用ライセンスは ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティに含まれており、評価用導入の一環として各 ONTAP Select ノードに自動的に適用されます。

ONTAP Select Deploy管理ユーティリティをダウンロードするには、次のものがが必要です。



- NetAppサポートサイトの登録アカウント。アカウントをお持ちでない場合は、を参照してください ["ユーザ登録"](#)。
- 評価用ライセンスがあるONTAP Select環境の場合は、に移動し ["エンドユーザライセンス契約に同意します。"](#)ます。

評価用クラスタを導入してサポートする場合は、いくつかの考慮事項があります。

- クラスタは評価目的でのみ使用できます。本番環境では、評価用ライセンスのあるクラスタを使用しないでください。
- 各ホストを設定するときは、ONTAP Select Deploy管理ユーティリティを次のように使用する必要があります。
 - シリアル番号を指定しない
 - 評価用ライセンスを使用するように構成

ライセンスの特性

ONTAP Select 評価用ライセンスには次のような特徴があります。

- ストレージ容量を含む本番環境ライセンスは不要
- ノードのシリアル番号は 20 桁で、ONTAP Select Deploy によって自動的に生成されます
(NetAppから直接取得するわけではありません)
- ライセンスが提供する評価期間は、最大 90 日です
- 各ノードによって割り当てられる最大ストレージ容量は、本番環境ライセンスと同じです

本番環境ライセンスへのアップグレード

ONTAP Select 評価用クラスタは、本番環境ライセンスを使用するようにアップグレードできます。次の制限事項に注意してください。

- ライセンスのアップグレードを実行するには、Deploy 管理ユーティリティを使用する必要があります
- 容量階層ライセンスは使用できますが、容量プールライセンスはサポートされません。
- 各ノードには、クラスタサイズに基づいて、本番環境ライセンスに必要な最小要件を満たす十分なストレージを割り当てる必要があります

を参照してください ["評価用ライセンスを本番環境ライセンスに変換する"](#) を参照してください。

次の手順

- ["ONTAP Select 評価ソフトウェアにアクセスする"](#)
- ["ONTAP Select クラスタの90日間の評価用インスタンスを導入"](#)

関連情報

- ["実稼働環境への導入に関するライセンスについて学ぶ"](#)

本番環境用ライセンス

本番環境向けの **ONTAP Select** 購入ライセンスについて学習します

ONTAP Select が組織に適していると判断したら、本番環境の導入に必要なライセンスを購入できます。導入ごとに、容量プールまたは容量階層ライセンス モデルのいずれかとストレージ容量を選択する必要があります。

一般的なライセンス特性

Capacity Pools と *Capacity Tiers* のライセンス モデルは、いくつかの点で大きく異なります。ただし、これら 2 つのライセンス モデルには、次のような共通の特性があります：

- 本番環境に ONTAP Select を導入する場合は、必要に応じて 1 つ以上のライセンスを購入する必要があります。
- ライセンスのストレージ容量は、1TB 単位で割り当てられます。
- すべてのプラットフォーム ライセンス オファリング（standard、premium、premium XL）がサポートされています。
- 必要なライセンスの取得時は、必要に応じてネットアップのアカウントチームまたはパートナーにお問い合わせください。
- ライセンスファイルを Deploy の管理ユーティリティにアップロードする必要があります。これにより、ライセンスモデルに基づいてライセンスが適用されます。
- ライセンスのインストールと適用が完了したら、ネットアップのアカウントチームまたはパートナーに連絡して更新したライセンスを調達し、容量を追加することができます。
- 最初に購入ライセンスを使用して導入した ONTAP Select ノードを評価用ライセンスに変換することはできません。

容量階層のライセンスモデル

容量階層のライセンスモデルには、次のような特徴があります。

- ONTAP Select ノードごとにライセンスを購入する必要があります。

- 購入可能な最小容量は 1TB です。
- 各大容量階層ライセンスにはストレージ容量があり、特定のノードにロックされます。
- ストレージ容量は物理容量を示し、ONTAP Select 仮想マシンで使用可能なデータディスクの合計許容サイズに対応します。
- NetAppは、各ONTAP Selectノードに対して9桁のライセンス シリアル番号を生成します。
- ノードに割り当てられたストレージは永続的（更新は不要）ですが、ライセンスに関連付けられたサポート契約は更新する必要があります。
- 高可用性（HA）ペアの各ONTAP Selectノードには、ノードに接続されている物理ストレージと同じ大きさ以上のライセンスが必要です。
- ノードのシリアル番号は 9 桁で、ライセンスのシリアル番号と同じです。
- ライセンスファイルは、クラスタの導入時、またはクラスタの作成後 30 日以内に適用できます。

容量プールのライセンスモデル

容量プールのライセンスモデルには、次のような特徴があります。

- 共有容量プールごとにライセンスを購入する必要があります。
- 購入可能な最小容量は 2TB です。
- 各容量プール ライセンスにはストレージ容量があり、Deploy 管理ユーティリティ内の特定の License Manager インスタンスにロックされています。
- ストレージ容量は物理ストレージ容量を示し、ONTAP Select 仮想マシンで作成できるデータ アグリゲートの合計許容サイズに対応します。
- NetAppでは、容量プールごとに9桁のライセンスシリアル番号が生成されます。
- 容量プールに割り当てられたストレージは、購入に基づいて一定期間のみ有効です（更新が必要です）。
- License Manager は、Capacity Pool ライセンス シリアル番号に基づいて 20 桁のノード シリアル番号を生成します。
- クラスタ内のすべてのONTAP Selectノードは、同じライセンス容量を共有します。つまり、ライセンスは、クラスタ内のすべてのノードに割り当てられたストレージを提供するのに十分な大きさである必要があります。
- 各ノードは、ローカルデータアグリゲートのストレージ容量を共有容量プールから自動的にリースします。

次の手順

- ["ONTAP Selectのプラットフォームライセンスサービスの詳細"](#)
- ["ONTAP Select容量プールのライセンス モデルの詳細"](#)

ONTAP Selectのプラットフォームライセンスサービスの詳細

ONTAP Selectの大容量階層または容量プールライセンスは、Standard、Premium、PremiumのいずれかのXLレベルで購入できます。これらのライセンスサービスによって、ONTAP Select を導入するホストの機能が決まります。

特定のライセンス オファリングによって、次の 2 つの領域におけるハイパーバイザー ホストの機能が決まります。

- インスタンスタイプ（CPU、メモリ）
- その他の機能

ライセンスサービスは、Standard XL から Premium XL まで、機能の昇順で提供されます。一般的に、選択したライセンスオプションは、そのレベルおよび下位レベルすべての機能を付与します。たとえば、Premium レベルは Premium と Standard の両方の機能を提供します。

次の表は、標準、プレミアム、プレミアム XL ライセンス オファリングの機能を比較したものです。

ライセンスはサポートされています...		標準	Premium サービス	Premium XL
インスタンスタイプ		小型のみ	小または中	小、中、大
ハードディスクドライブ (HDD) は ...	ハードウェアRAID構成	はい。	はい。	はい。
	vNAS構成	はい。	はい。	はい。
ソリッド ステートドライブ (SSD) は ...	ハードウェアRAID構成	いいえ	はい。	はい。
	ソフトウェアRAID構成	いいえ	はい。	はい。
	vNAS構成	はい。	はい。	はい。
NVMe ドライブは ...	ハードウェアRAID構成	いいえ	いいえ	はい。
	ソフトウェアRAID構成	いいえ	いいえ	はい。
	vNAS構成	はい。	はい。	はい。
MetroCluster SDS		いいえ	はい。	はい。



カーネルベースの仮想マシン (KVM) は、大規模なインスタンス タイプをサポートしていません。

プラットフォームライセンス製品のハードウェアサポートの比較

標準、プレミアム、プレミアムXLライセンスは、幅広いハードウェアとソフトウェアをサポートしています。ハードウェアとソフトウェアのバージョンに関する最新情報については、["Interoperability Matrix Tool"](#)をご覧ください。

コアアイテム

コアアイテムのタイプ	説明
ホストプロトコル	NFS、SMB / CIFS、iSCSI、NVMe over TCP
導入オプション	単一ノード 2ノードクラスタ (HAペア) 4、6、8、10、または12ノードクラスタ
サポートされる容量 (ノードあたり)	最大400TBの生データ (ESXiおよびKVM)

ハードウェア

ハードウェアタイプ	説明		
インスタンスサイズ	小規模	中	大規模
CPUファミリー	Intel Xeon E5-26xx v3 (Haswell) 以降	Intel Xeon E5-26xx v3 (Haswell) 以降	Intel Xeon E5-26xx v3 (Haswell) 以降
ONTAP Select CPU/メモリ	仮想CPU (vCPU) ×4 / 16GBのRAM	vCPU×8 / RAM×64GB	vCPU×16 / RAM×128GB
ホストのCPU /メモリの最小要件 ¹	6コア/ 24GBのRAM	10コア/ 72GB のRAM	18コア/ 136GB RAM
ネットワーク (ノードあたり)	単一ノード クラスタの場合は 1GbE ポートが最低 2 つ 2 ノード クラスタ (HA ペア) の場合は 1GbE ポートが最低 4 つ 4、6、8、10、または 12 ノード クラスタの場合は 10GbE ポートが最低 2 つ		

¹ ハイパーバイザーに 2 つのコアと 8 GB の RAM を想定しています。

ストレージタイプ

次の表に、指定したストレージに必要な最小ライセンスタイプを示します。

ストレージタイプ	説明		
ライセンスタイプ	標準	Premium サービス	Premium XL
インスタンスサイズ	小規模	小規模および中規模	小規模、中規模、大規模
ハードウェアRAIDコントローラを搭載したローカルDAS	8~60ドライブ	8~60ドライブ	8~60ドライブ
HDD (SAS、NL-SAS、SATA)	該当なし	4~60台のドライブ	4~60台のドライブ
SSD (SAS)	該当なし	4~60ドライブ (SSDのみ)	4~60ドライブ (SSDのみ)
ソフトウェアRAIDを使用したローカルDAS	該当なし	該当する	ドライブ×4~14本 (NVMeのみ)
外付けアレイ ¹	外付けアレイでホストされているデータストアがFC、FCoE、iSCSI、およびNFS経由で接続されている (KVMではNFSはサポートされていません)。これらのデータストアは、高可用性と耐障害性を提供します。		

¹外部アレイプロトコルのサポートには、ネットワークストレージの接続性が反映されています。

ソフトウェア

ソフトウェアタイプ	説明	
ハイパーバイザーのサポート (VMware)	VMware vSphere 9.0 VMware vSphere 8.0GA およびアップデート 1 ~ 3 VMware vSphere 7.0GA およびアップデート 1 ~ 3C	
ハイパーバイザーのサポート (KVM)	Red Hat Enterprise Linux 64-bit (KVM) 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.8、8.7、および 8.6 Rocky Linux (KVM) 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.9、8.8、8.7、8.6	管理ソフトウェア

次の手順

["ONTAP Selectライセンスの購入について"](#)

容量プールのライセンスモデル

ONTAP Select Capacity Poolsライセンスモデルの処理の詳細

容量プールのライセンスモデルは、容量階層モデルとは異なります。ストレージ容量は個々のノードに専用で割り当ててではなく、プールに割り当てられて複数のノードで共有されます。容量プールモデルをサポートするために、追加のコンポーネントとプロセスが作成されました。

License Manager の略

License Managerは、Deploy管理ユーティリティの各インスタンス内で個別のプロセスとして実行されます。LM で提供される機能には、次のものがあります。

- 容量プールライセンスのシリアル番号に基づいて、各ノードに一意の20桁のシリアル番号を生成する
- ONTAP Selectノードからの要求に基づいて、共有容量プールから容量のリースを作成
- Deploy ユーザーインターフェイスを使用してプールの使用状況をレポートします

リース特性

容量プールライセンスを使用するノードのすべてのデータアグリゲートに割り当てられるストレージには、リースを関連付ける必要があります。ノードはストレージリースを要求し、容量が使用可能な場合、License Manager はリースで応答します。各リースには、次の明示的または暗黙的な属性があります。

- License Manager の略

すべてのONTAP Selectノードは1つのLicense Managerインスタンスに関連付けられています

- Capacity Pool

すべての ONTAP Select ノードは 1 つのキャパシティ プールに関連付けられています

- ストレージ割り当て

リースでは特定の容量値が割り当てられます

- 有効期限日時

リースの期間は、ユーザー設定に応じて 1 時間から 7 日間になります。

ライセンスロック ID

License Manager の各インスタンス、つまり、対応する Deploy ユーティリティのインスタンスは、一意の 128 ビット番号で識別されます。この番号と9桁の容量プールライセンスのシリアル番号を組み合わせ、特定のLicense Managerインスタンス（実質的にはDeployインスタンス）にプールをロックします。NetApp Support Siteで NetApp License File （NLF）の生成の一環として両方の値を指定する必要があります。

次の方法で Web ユーザインターフェイスを使用して、Deploy インスタンスのライセンスロック ID を確認できます。

- スタートガイド ページ

Deploy に初めてサインインすると、このページが表示されます。ページ右上のドロップダウンボックスを開き、**Getting Started** を選択してこのページを表示することもできます。LLID は「ライセンスの追加」セクションに表示されます。

- ページ上部の*管理*タブを選択し、*システムとAutoSupport*を選択します。

基本的なリース操作

ONTAP Selectノードは、データ アグリゲートが作成、拡張、または変更されるたびに、有効な容量リースを検索または要求する必要があります。以前の要求で取得した有効なリースを使用することも、必要に応じて新しいリースを要求することもできます。ONTAP Selectノードは、容量プールリースを検索するために、以下の手順を実行します：

1. 既存のリースがノードに存在する場合は、次の条件をすべて満たしていれば使用されます。
 - リースの期限が切れていません
 - アグリゲートのストレージ要求がリース容量を超えていません
2. 既存のリースが見つからない場合、ノードは License Manager から新しいリースを要求します。

ストレージ容量を容量プールに戻します。

ストレージ容量は必要に応じて容量プールから割り当てられ、新しい要求を行うたびにプール内の使用可能なストレージを減らすことができます。ストレージ容量は、次のようないくつかの状況でプールに返されます。

- データアグリゲートのリースは期限切れになり、ノードでは更新されません
- データアグリゲートが削除されました



ONTAP Select 仮想マシンが削除された場合、アクティブなリースは有効期限が切れるまで有効です。この場合、容量はプールに返されます。

ONTAP Select Capacity Pools ライセンスモデルのノードシリアル番号

Capacity Tiers ライセンスモデルでは、9桁のノードシリアル番号は、ノードに割り当てられているライセンスシリアル番号と同じです。ただし、容量プールのライセンスモデルを使用してノードに割り当てられるシリアル番号の形式が異なります。

容量プールのライセンスを使用するノードのシリアル番号の形式は次のとおりです。

「999 pppppppppppppppppp nnnnnnnn」と入力します



わかりやすくするためにスペースが追加されていますが、実際のシリアル番号には含まれていません。

次の表では、ノードシリアル番号の各セクションを左から右に説明します。

セクション	説明
'999'	ネットアップが予約した3桁の固定値。
ppppppppppppp p	NetAppによって容量プールに割り当てられる9桁の変数ライセンスシリアル番号
nnnnnnnn	容量プールを使用する各ノードについて、ライセンスマネージャによって生成される8桁の変数の値



NetApp サポートに容量プールライセンスを使用するノードに関するケースを開く場合は、9桁の容量プールライセンスのシリアル番号を提供する必要があります。20桁のノードシリアル番号全体を提供することはできません。ノードシリアル番号の最初の3桁（「999」）をスキップし、次の9桁（pppppppppp）を抽出することで、ノードシリアル番号からライセンスシリアル番号を導き出すことができます。

ONTAP Select Capacity Pools のライセンスに関する導入の制限事項

容量プールライセンスモデルの使用時に適用される制限事項を次に示します。

クラスタごとに統一されたライセンスモデル

単一のONTAP Selectクラスタ内のすべてのノードで、同じライセンスモデル（容量階層または容量プール）を使用する必要があります。1つのクラスタ内で複数のノードのライセンスタイプを混在させることはできません。

クラスタ内のすべてのノードが同じ License Manager インスタンスを使用します

ONTAP SelectクラスタのCapacity Poolライセンスを使用するすべてのノードで、同じLicense Managerインスタンスを使用する必要があります。各Deployインスタンス内にLicense Managerインスタンスが1つあるため、この制限は、同じDeployインスタンスでクラスタ内のすべてのノードを管理する必要があるという既存

の要件を言い換えたものです。

ノードあたり1つの容量プール

各ノードは、1つの容量プールからストレージをリースできます。1つのノードで複数のプールを使用することはできません。

HA ペアのノードに同じプール

単一のHAペアの両方のノードで、同じ容量プールからストレージをリースする必要があります。ただし、同じクラスタ内の異なる HA ペアは、同じ License Manager で管理されている異なるプールからストレージをリースできます。

ストレージライセンスの期間

ネットアップからストレージライセンスを取得するときは、ライセンス期間を選択する必要があります。たとえば、ライセンスは1年間有効です。

データアグリゲートのリース期間

ONTAP Selectノードがデータアグリゲートのストレージリースを要求すると、ライセンスマネージャは容量プールの構成に基づいて一定期間リースを提供します。各プールのリース期間は、1時間から7日の間で設定できます。デフォルトのリース期間は24時間です。

Deploy に割り当てられた静的 IP アドレス

容量プールのライセンスを使用する場合は、Deploy管理ユーティリティに静的IPアドレスを割り当てる必要があります。

ONTAP Select Capacity Poolsライセンスのメリットの概要

容量階層のライセンスモデルではなく、容量プールのライセンスモデルを使用すると、いくつかのメリットがあります。

ストレージ容量をより効率的に使用できます

容量階層のライセンスを使用する場合は、各ノードに固定ストレージ容量を割り当てます。未使用のスペースを他のノードと共有することはできず、無駄になります。容量プールライセンスの場合、各ノードはデータアグリゲートのサイズに基づいて必要な容量だけを消費します。

容量は中央プールに固定され、組織内の多数のノード間で共有できます。

管理オーバーヘッドが大幅に削減され、コストが削減されます

大容量階層ライセンスを使用する場合は、ノードごとにライセンスを取得してインストールする必要があります。容量プールを使用する場合は、共有プールごとに1つのライセンスがあります。これにより、管理オーバーヘッドが大幅に削減され、コストが削減されます。

利用率指標の向上

DeployのWebユーザインターフェイスは、容量プールの使用状況に関する情報を強化します。容量プールで使用されているストレージ容量と使用可能なストレージ容量、プールのストレージを使用しているノード、およびクラスタが容量を割り当てているプールを簡単に確認できます。

ONTAP Select容量階層と容量プールのライセンスを比較する

次の表に、ONTAP Select でサポートされる 2 つの本番環境ライセンスモデルの比較を示します。

	大容量階層	容量プール
ライセンスのシリアル番号	NetApp は9桁の数字を生成し、ノードに割り当てる	NetAppは9桁の数字を生成し、それを容量プールに割り当てます
ライセンスロック	ONTAP Select ノードにロックされました	License Manager インスタンスにロックされています
ライセンス期間	無期限（更新は不要）	購入に基づく固定期間（更新が必要）
データアグリゲートのリース期間	該当なし	1時間~7日
ノードのシリアル番号	ライセンスシリアル番号と同じ9桁の数字	ライセンスマネージャによって生成された20桁の数字
サポート	アドオンと期間限定	同梱され、同一期間
ライセンスタイプ	スタンダード、プレミアム、プレミアムXL	スタンダード、プレミアム、プレミアムXL
評価用ライセンスがあります	はい。	はい。
評価版から本番環境へのアップグレード	はい。	いいえ
ONTAP Select仮想マシンのサイズ変更（小規模から中規模、中規模から大規模）	はい。	はい。
適用:ライセンスの期限切れ	該当なし	○（猶予期間なし）
最小ライセンス	1 TB	2 TB
最大管理スペース	ノードあたり400TB	ノードあたり400TB

ライセンスを購入する

ONTAP Selectライセンス購入時のワークフロー

次のワークフローは、ONTAP Select 環境用のライセンスを購入して適用するプロセスを示しています。ライセンスを購入する際には、ライセンスモデルとストレージ容量を選択する必要があります。

具体的なプロセスは、使用しているライセンスが大容量階層と容量プールのどちらかによって異なります。

9 桁のライセンスシリアル番号

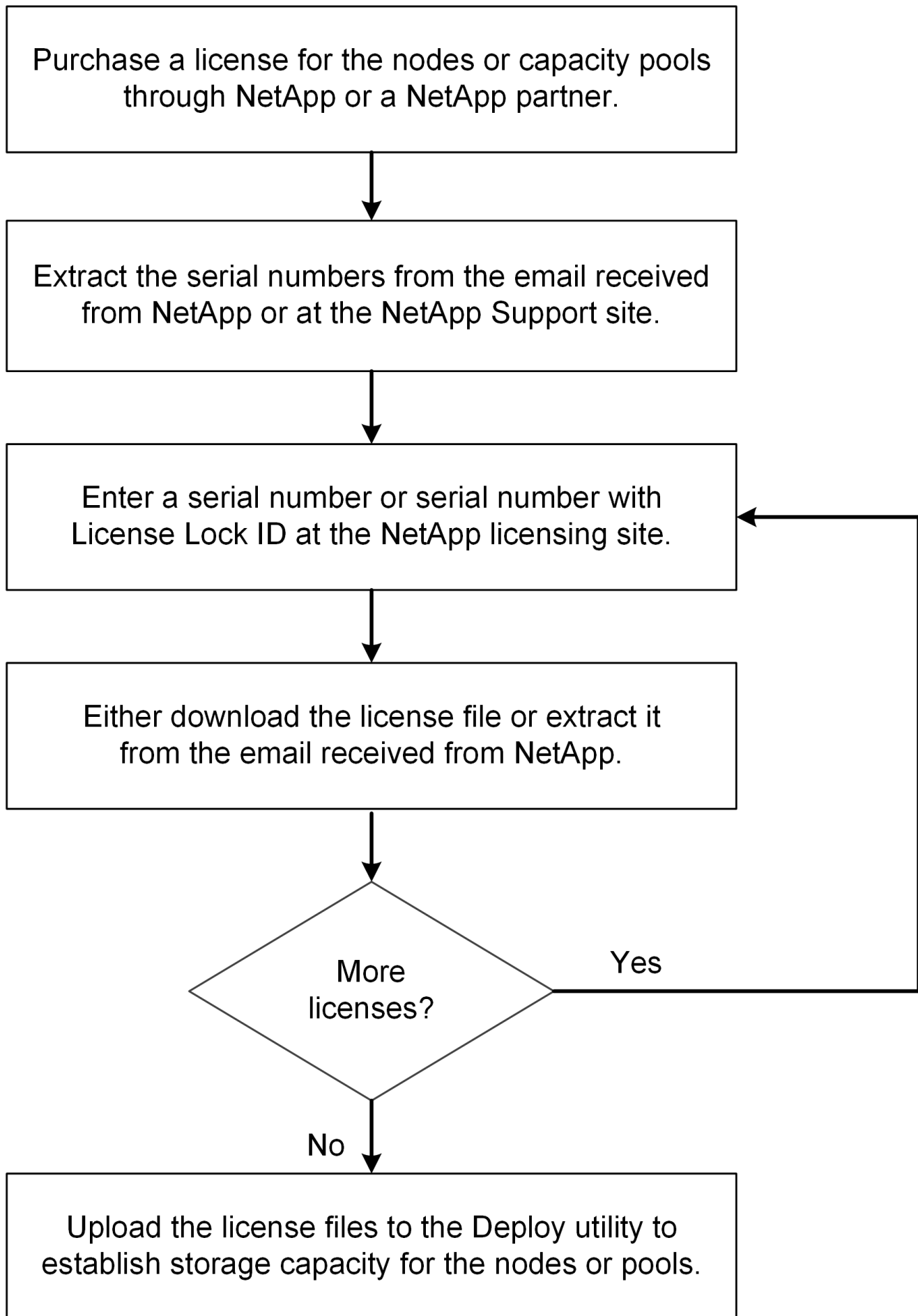
シリアル番号は、ノード（大容量階層）またはストレージプール（容量プール）のいずれかに適用されます。

ライセンスロック ID

容量プールライセンスを使用する場合は、DeployインスタンスのライセンスロックIDが必要です。

ライセンス **Web** サイト

別のWebサイトで大容量階層と容量プールのライセンスを取得している場合



次の手順

ONTAP Selectライセンスのサイズ設定に関する考慮事項について説明します。

- ["Capacity Tiers ライセンス"](#)
- ["Capacity Pools ライセンス"](#)

関連情報

["ONTAP Selectライセンスの管理について学ぶ"](#)

大容量階層

ONTAP Select Capacity Tiersライセンスのサイズ設定に関する考慮事項

Capacity Tiersライセンスは、各ONTAP Selectノードによって管理される基盤となるディスク容量に基づいており、ノード、HAペア、またはクラスタの使用可能容量に基づいていません。各Capacity Tiersライセンスは、指定された容量の個々のノードシリアル番号に割り当てられ、付随するサポート契約が必要です。

Capacity Tiers ライセンスのライセンス容量はTB 単位で、最小値は1 TB です。使用可能なスペースの量にオーバーヘッド係数を掛けて、ライセンス容量を計算します。オーバーヘッド係数は、シングルノード クラスタとマルチノード (HA ペア ベース) クラスタ間で異なります：

- シングルノード クラスタのオーバーヘッド係数は1.13です
- マルチノード クラスタのオーバーヘッド係数は2.67です

使用可能なスペースに基づいてライセンス容量を計算し、導入に十分な容量があることを確認します。

説明	シングル ノード	HA ペア
使用可能スペース	10 TB	ノードあたり5 TB、HAペアの場合は10 TB
ライセンス スペース	12 TB (10 x 1.13 = 11.3、次の完全な TB に切り上げ)	14 TBライセンス2つ (5 x 2.67 = 13.35、次の完全なTBに切り上げ)
ノードあたりの最大使用可能容量 注：ノードまたはHAペアあたりの最大管理容量は400 TBです	353 TB (400 / 1.13)	HA ペアのノードごと： • 149 TB (400 / 2.67) マルチノード クラスタ内の HA ペアごと： • 2ノード：298 TB (2 x 149) • 4ノード：596 TB (4 x 149) • 6ノード：894 TB (6 x 149) • 8ノード：1,192 TB (8 x 149) • 10ノード：1,490 TB (10 x 149) • 12ノード：1,788 TB (12 x 149)

次の手順

"ONTAP Select の容量階層ライセンスを取得する"

ONTAP Selectの大容量階層ライセンスを取得する

容量階層のライセンスを使用している場合は、ONTAP Selectノードごとにライセンスファイルを取得する必要があります。ライセンスファイルではノードのストレージ容量を定義します。このファイルは、ネットアップが割り当てた一意の9桁のシリアル番号を使用してノードにロックされます。

作業を開始する前に

- NetAppによってONTAP Selectノードに割り当てられた9桁のライセンス シリアル番号が必要です。
- ライセンス ファイルを取得する前に、注文書の発送日から少なくとも 24 時間待つ必要があります。
- "容量階層ライセンスのサイジングに関する考慮事項"をレビューしました。

このタスクについて

Capacity Tiers ライセンスを必要とする ONTAP Select ノードごとにこのタスクを実行する必要があります。

手順

1. "ONTAP Selectライセンスサイトにアクセスする".
2. ネットアップアカウントのクレデンシャルを使用してサインインします。
3. [*License Generator] ページで、ドロップダウン・ボックスから目的のライセンス製品を選択します。
4. 製品シリアル番号*を含む、*ライセンス ジェネレーター ページの残りのフィールドに入力します。

「製品シリアル番号」は、ONTAP Selectノードのシリアル番号です。

5. *送信*を選択します。
6. 要求の検証が完了したら、ライセンスの配信方法を選択します。

*ライセンスのダウンロード*または*ライセンスのメール送信*のいずれかを選択できます。

7. 選択した配信方法に基づいてライセンスファイルを受け取ったことを確認します。

完了後

ライセンスファイルを ONTAP Select ノードに適用するには、Deploy 管理ユーティリティにアップロードする必要があります。

容量プール

ONTAP Select容量プールライセンスのサイズ設定に関する考慮事項

容量プールライセンスのライセンス容量はTB単位で、最小2TBです。使用可能なスペースの量にオーバーヘッド係数を掛けて、ライセンス容量を計算します。オーバーヘッド係数は、シングルノード クラスタとマルチノード（HAペア ベース）クラスタ間で異なります。

- シングルノード クラスタのオーバーヘッド係数は1.13です
- マルチノード クラスタのオーバーヘッド係数は2.67です

展開に十分な容量があることを確認するには、使用可能なスペースに基づいてライセンス容量を計算する必要があります。

説明	シングルノード	HAペアまたはHAペアと単一ノードの混合
使用可能スペース	20 TB	シングルノード クラスタあたり10TB、HAペアの場合は20TB
ライセンス スペース	23 TB (20 x 1.13 = 22.6、次の完全な TB に切り上げ)	54 TB (20 x 2.67 = 53.4、次の完全な TB に切り上げ)
ノードあたりの最大使用可能容量 注：ノードまたはHAペアあたりの最大管理容量は400 TBです	353 TB (400 / 1.13)	クラスター内の単一ノードあたり： 149 TB (400 / 2.67) クラスター内の HA ペアごとに： 298 TB (2 x 149)

次の手順

["ONTAP Select の Capacity Pools ライセンスを取得する"](#)

ONTAP Select容量プールライセンスを取得する

ONTAP Selectノードで使用される各容量プールのライセンスファイルを取得する必要があります。ライセンスファイルでは、プールのストレージ容量と有効期限が定義されます。このライセンスは、ネットアップが割り当てた一意のライセンスシリアル番号と、Deploy インスタンスに関連付けられたライセンスロック ID を組み合わせて、License Manager にロックされます。

作業を開始する前に

- NetAppによって容量プールに割り当てられた 9 桁のライセンス シリアル番号が必要です。
- ライセンス ファイルを取得する前に、注文書の発送日から少なくとも 24 時間待つ必要があります。
- ["Capacity Poolsライセンスのサイズ設定に関する考慮事項"](#)をレビューしました。

このタスクについて

このタスクは、ONTAP Selectノードで使用される容量プールごとに実行する必要があります。

手順

1. ["NetApp Support Site"](#)にログインします。
2. **Systems > Software Licenses** を選択します。
3. 容量プールのライセンス シリアル番号を入力し、**Go!** を選択します。
4. ライセンスの詳細ページで、* 製品の詳細 * 列に移動します。

5. 適切な行で **NetApp** ライセンス ファイルの取得 を選択します。
6. ONTAP Select Deploy インスタンスのライセンス ロック ID を入力し、送信 を選択します。
7. 適切な配信方法を選択し、* Submit * を選択します。
8. 配信確認ウィンドウで **OK** を選択します。

完了後

ONTAP Select ノードが容量プールを使用する前に、ライセンス ファイルを Deploy 管理ユーティリティにアップロードする必要があります。

ONTAP SelectでのONTAP機能のサポート

ONTAP Select はほとんどのONTAP機能をサポートしています。クラスタを導入すると、多くのONTAP機能のライセンスが各ノードに自動的に付与されます。ただし、一部の機能には別途ライセンスが必要です。



ハードウェア固有の依存関係を持つONTAP 機能は、一般にONTAP Select ではサポートされていません。

ONTAP の機能はデフォルトで自動的に有効になります

ONTAP Selectでは、次のONTAP機能がサポートされており、デフォルトでライセンスが付与されています。

- Autonomous Ransomware Protection (ARP) (手動更新)
- CIFS
- 重複排除機能と圧縮機能
- FlexCache
- FlexClone
- iSCSI
- NDMP
- NetApp Volume Encryption (規制対象外の国のみ)
- NFS
- NVMe over TCP
- ONTAP のマルチテナンシー機能
- ONTAP S3
- SnapLock Select

SnapLock SelectはONTAP Select向けに設計されたONTAP SnapLockの実装であり、SnapLock Enterpriseが含まれています。SnapLock Complianceは含まれていません。詳細については、"[ONTAP SnapLock ドキュメント](#)"を参照してください。

- S3 SnapMirror
- SnapMirror

- SnapMirror Cloud
- SnapRestore
- SnapVault
- Storage VMディザスタリカバリ (SVM DR)

ONTAP Selectでは、ソースとデスティネーションの両方としてSVM DRがサポートされ、最大16の関係が確立されます。SVM DRのサポートは、ソースONTAPのバージョン+2の使用に限定されます。たとえば、ONTAP Select 9.12.1ソースは、デスティネーションONTAPバージョン9.12.1、9.13.1、または9.14.1に接続できます。

個別にライセンスされる**ONTAP** の機能

デフォルトで有効になっていない次のようなONTAP機能については、別途ライセンスを取得する必要があります。

- FabricPool



StorageGRIDを使用する場合は、FabricPoolライセンスは必要ありません。

- MetroCluster SDS (ONTAP Select プレミアムライセンスサービス)

関連情報

- ["ONTAP Select と ONTAP 9 の比較"](#)
- ["NetApp ONTAP のマスターライセンスキー"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。